

佐賀駅周辺整備調査特別委員会

令和2年8月18日(火)

午前10時00分～午前11時19分

議会第1会議室

【出席委員】山下伸二委員長、永渕史孝副委員長、中村宏志委員、御厨洋行委員、
富永明美委員、宮崎 健委員、白倉和子委員、福井章司委員、
重田音彦委員、平原嘉徳委員、嘉村弘和委員

【欠席委員】なし

【委員外議員】山下明子議員

【執行部出席者】武藤佐賀駅周辺整備構想推進室長
ほか、関係職員

【案 件】

・佐賀駅周辺整備関連事業に関する諸種調査

○山下伸二委員長

お疲れさまです。

それでは、ただいまより第6回の佐賀駅周辺整備調査特別委員会を開催させていただきます。

本日の委員会につきましては、まず、佐賀駅周辺整備事業について、執行部から説明を受けていただきました後に、皆様からの御質疑をお受けいたします。

その後、今後の委員会の開催について、委員間討議を行いたいというふうに考えておりますので、よろしく願いいたします。

それではまず、佐賀駅周辺整備事業についてですけれども、こちらのほうに示してありますとおり、1つ目に佐賀駅南口暫定駐車場の運営状況、2つ目に、旧西友駐車場敷地開発の進め方、3つ目に、佐賀駅前広場、北口の整備、4つ目に、市道三溝線の整備についての執行部からの報告がありますので、報告につきましては、一括してお受けいたしまして、その後の質疑につきましては、項目ごとに質疑を行っていきたいと思いますけれども、よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

はい、それではそのとおりに進めさせていただきます。

それでは、執行部から佐賀駅周辺整備事業についての報告を求めます。

◎佐賀駅南口暫定駐車場の運営状況、旧西友駐車場敷地開発の進め方、佐賀駅前広場(北口)の整備、市道三溝線の整備について 説明

○山下伸二委員長

それでは、ただいま執行部のほうから佐賀駅周辺整備の事業について説明いただきまし

たので、項目を区切って質疑をお受けしたいというふうに思います。

まず、佐賀駅南口暫定駐車場の運用状況について、皆様からの御質疑をお受けしたいというふうに思います。

○重田委員

コムボックスが6月からオープンということで、こういう数字になってきておりますけど、大体、予定としてはどれぐらいを見込んでおられるのか、それについてお伺いします。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

予定というのは、駐車台数とかですか。

(「売り上げとか」と呼ぶ者あり)

当初見込んでいたときからすると、コロナの分で、一般の駐車が非常に少なくなってきているので、収入としては、想定よりも少なくなっているなというふうな感じしております。

ただ、今後、もちろんコムボックスのほうの事業もどんどん2階のほうもオープンしていきますと、駐車台数が増えていきますし、それに伴って収入も増えていくというふうに思っております。

それから、やっぱりコロナの収束によって、駐車場の利用も増えてくるとは思いますが、もちろん収入が上がるっていうことも非常に重要なんですけども、福岡への駐車場の利用者と、それから、近隣の飲食店の利用者の方の利用っていうのは、これまで非常に多かったわけですので、金曜日と土曜日の夕方から夜間にかけて、利用が非常に多かったんですけども、そういうところが元に戻ってくると心配しておりますのは、コムボックスのほうの利用者とバッティングして、利用が逼迫してくるっていうのを心配しているところであります。

ただ、もちろん収入は収入で上がっていかないといけないと思っておりますので、そこら辺はちょっと、今後の利用状況を見きわめながら調査していきたいというふうに思っております。

○山下伸二委員長

6月は、特別な事情があってこういうふうになっているんですけども、台数が増えている割には売り上げが落ちていないということは、やっぱり30分の無料利用者が多いんだろうというふうに思うんですね。

ですから、台数を見ながらも、やはり、損益分岐点が大体600万円ぐらいとおっしゃいましたので、そういったものを見据えながらやっていくということによろしいわけですよ。今後も売り上げは600万ですね。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

そうですね。もう、ちょっと上がってほしいなと思っております。

○山下伸二委員長

ほかに駐車場の関係でございませんか。

○御厨委員

オートバイ、2輪もとめられるように今回してもらっておりますけども、2輪の台数っていうのは個別にわかったら教えていただきたいんですが。

○佐賀駅周辺整備構想推進室参事兼推進係長

すみません。細やかな台数というのは今手持ちございませんけども、毎月管理業者のほうから来る報告の中では若干数台ずつぐらいはとめていらっしゃるという状況でございます。

○山下伸二委員長

この駐車台数の割合ですけどね、先ほど言われたように、例えば2輪が何台ぐらいとか、あと30分以内の無料利用が何台ぐらいとか、30分以上で1時間以上がどれくらいだとか、そういった階層で台数とか出すことができますか。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

30分以内の無料の台数というのが、全体の半分弱ぐらいだっというふうに把握はしております。

○山下伸二委員長

いや、ですから今後、こういった報告をいただくときに、そういった割合で、こういう割合ですよということを出していただくことは可能ですかということをちょっと確認します。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

可能です。

○山下伸二委員長

可能ですね。そういった資料の出し方について今後ぜひ、ちょっと工夫をいただきたいというふうに思いますのでよろしくお願いします。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

わかりました。

○山下伸二委員長

この点についてほかに何かございませんか。

○白倉委員

この暫定駐車場の今の利用状況と収益分岐点を説明いただきましたけれども、今ここ、ちょっと改めて委託しているところに対して、まだ佐賀市が独自でこれは運営していないですよ。この駐車場自体の運営も佐賀市独自になっていますか。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

昨年の7月1日から、JA佐賀市中央から土地をお借りしまして、佐賀市が運営をしております。運営の委託につきましては、JR九州レンタカー&パーキングのほうに管理の委託をしているところでありますので、運営自体は佐賀市のほうでやっております。

○白倉委員

そうしましたら、要するに、収入の落ち込み云々に関してはもうすべて佐賀市のところの

財源に影響してくると、委託料自体に、何て言いますかね、もう変わらないわけですから、委託先にとっては、もう台数が幾ら入ろうと落ちろうと、どちらでも関係ないってことです。その確認。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

駐車台数で委託料が増減するということはありません。

○山下伸二委員長

よろしいですか。

また後ほど総括して御質問をお受けしますので、質問漏れがあればまた後ほどお願いします。

次に、旧西友駐車場敷地開発の進め方について、資料につきましては、2の1と2の2の分、この分について、皆さんからの御質疑をお受けしたいというふうに思います。

○福井委員

2の2のほうのですね、サウンディング型の新たな将来の開発投資に意欲のある事業所の掘り起こしということで、今、表現の中ではあるというふうなニュアンスのことも言われたんですが、具体的にどうなのかということと、それから、見直しの内容の3のところ、ノウハウを持つ企業に立地誘導方針の検討、公募要件等々についての委託ということも挙げられていますけど、この辺についての具体的なノウハウを持つ会社っていうのはどんなのを考えられているのか、その2つについてお伺いしたいと思います。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

開発意欲のある事業者がいるのかっていうような御質問でよろしゅうございますか。

大手のコンサルタント——2つ目の質問の答えと重なると思いますが、大手のコンサルの方たちと複数お話を、情報収集をやっております期間中に、いろんな方とお話をさせていただいた中で、実際、コロナが蔓延して感染が拡大してきたときに、ちょっと私たちとしては正直やばいなという感覚を持ちました。このままだと開発がちょっときつくなるのではないかなという心配をしていたんですが、観光事業というのは、必ず1年半、2年後ぐらいには回復してくると。そのときに、私たちが実際事業をやろうとしているのは、1年、2年、もっと先のほうの開発ですので、それは可能ですよというお話を大手のコンサルタント関係の方からお伺いしました。

事業者も、そういったものが存在するっていうことは、ホテルが——どここのホテルがいますぐこの話に乗ってきますよという話ではございませんで、投資意欲のある企業というのはたくさんいるということはお話を伺っておりますので、今後、2番目の答えになりますが、そういう大手のコンサルタントの——要は、かなりやっぱりネットワークが広いところでないとかこういう扱いはできないかと思いますが、ネットワークの広いところとそういう話を進める中で、こういうところに入ってきてくれるというところを実際に連れてきてもらうようなところまで、今回、事業としてやっていきたいというふうに考えております。

○山下伸二委員長

いや、そのノウハウを持つ企業というのはどういうところが。そういう質問だったと思うんですよ。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

先ほど申しあげました大手のコンサルタントがノウハウを持つ企業というふうに考えております。

○福井委員

恐らく、関東近県とかという、そういうような感じですか。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

今から公募して事業者を決めていきたいというふうに思っておりますので、どこのという話ではないと思いますが、関東も含めて全国から、こういったものに該当する——数社私たちがお話を聞いた中では、そういう企業があるということはわかりましたので、公募する段階で、その場所、どちらから来られるかというのは、公募の段階で決まってくるものかというふうに思います。

○山下伸二委員長

ちなみに、そういう大手のコンサルタントっていうのは、九州とか、佐賀近辺にもあるものなんですか。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

九州というふうに見ると、いらっしゃるというふうに思います。

○山下伸二委員長

ほかにございませんか。

○重田委員

コロナ関係で企業も非常に厳しいということで、楽観的に考えるのも必要かと思いますが、なかなかコロナの収束、そして景気の関係ですね。それで、スケジュールどおりには当然いかないということになると思いますけど、最悪の場合はどういうふうを考えられているんですか。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

最悪の場合というか、先ほど申しあげました。今、議会のほうでも御了解いただいて契約しておりますが、令和4年5月にJ A佐賀市中央から北側部分の3分の1について購入することになっております。今回、駐車場の今の収支状況っていうのは御説明いたしましたが、今後これは間違いなく改善してくるというふうに思っておりますので、開発事業が若干遅れたときには、駐車場としての運用が少し伸びるっていうふうに思っていたらなと思っています。

今、令和4年の5月には工事が始まることを、令和4年5月に買収しましたときには、工事が始まることを前提に、かなりタイトなスケジュールでございましたが、議会のほうで

御説明したスケジュールとしてはそういうことでこれまで参りましたが、これをやっばり後に少しずつさざるを得ないかなというふうに思っています。その間は、駐車場として、要は、損害を与えないような形で駐車場としての運営を、その開発が終了するまで続けていかなざるを得ないかなというふうには思います。

○福井委員

要するに今説明いただいた駐車場敷地後の開発問題についてですけれども、基本的に言うと我々も佐賀の駅前の南口っていうのは大変重要な地域だと思っているということです。

北側のSAGAサンライズパークの絡みとか、それから国体とかっていうことで、一つの脚光を浴びてはいるものの、これも国体の関係とかでいろいろまた予定が変わるかもしれませんが、南は南でやはり、大きな玄関口になってくるんでね。我々も期待もするし、やっぱりその大きな開発は成功裏に終わってほしいと思うところであります。

今、重田委員が、万が一っていうことも言われたけど、万が一は絶対あってほしくないと思うわけで、そうしたときに1つ、今回コムボックスも立ち上がって、一定のにぎわいを見せているとはいうものの、まだまだちょっと我々が予測していたところまでには、いっていないんじゃないかという気がするんです。

つまり、Aコープが入ったことよっての効果はあったけれども、単なるAコープの駅前支店みたいになってしまったんでは困ると。その辺の顧客の分析なんかもしっかりとおってほしいと思うんですけど、そういったことを想定に含めてですよ。またそれがそういうふうな成果のあり方とかいうことも含めて、何というか、いろいろと対策を練っていかないと、今後の開発についてもそういったプラス面の効果ということをもっともっとやっばり、含めながら検討していく必要があると思うんですけど、現状はどうなんですか、一体。その辺の分析はどうされているのか。その現状というのは、例えばコムボックスの現況等も踏まえて、駐車場が、ちょっとさっきあれだったんだけど、そういう面での全体的な動きについてです。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

まず、コムボックスの売り上げの状況なんですけれども、先日担当常務にお会いしたときにお話を聞きましたら、今のところ、想定より上をいくくらい順調にしているというふうには聞きました。

先ほどの議員の質問なんですけれども、コムボックスのオープンというのは、要は西友があったところに、違うスーパーマーケット、その他のテナントが入るということですので、そんなに大きな変化ではないというふうに思っています。

ただ、地元の資本の方に入っていたいただいたのは非常にいいことだというふうに思っていますので、そういう地域経済の循環の話からするといいことだというふうに思っていますが、今回、やっぱり私たちが非常に力を入れて、ずっと地権者と交渉して、何とか合意を得ることが出来たっていうのはですね。40年間、駅の南が一番1等地のところに、1ヘクター

ルの平の駐車場がそのまま存在したってということが、結局佐賀市の外から見たときのポテンシャルが低く見られたりとか、そういうことにつながっていたかなというふうに思っています。

現状でも、大体年間1,200万人ぐらい、あの一帯で人が動いている状況ですので、コムボックスができ、今後、さらに開発を進めることによってもっと大きな集客をすることが可能ですので、今回の開発をすることによって、その集客結果が、佐賀市内の地域経済の活性化につながるような開発をしたいというのが、昨年の当初に議会のほうで御説明して、御理解いただいた内容でございますので、その方針に変わりはなく、今、まず第1段階としてのコムボックスのオープンで、この事業が進み始めたという段階ですので、ちょっと、コロナで第3段階になります旧西友駐車場の開発については、若干当初の予定よりも遅れざるを得ない状況になってはいますが、考え方は全く変わっておりませんので、ここはやっぱり、今回、これを絶対成功させることによって、佐賀市の地域経済の活性化に結びつけていきたいというふうには考えています。

○山下伸二委員長

よろしいですか。

はいどうぞ、平原委員。

○平原委員

今までの特別委員会の中でも、質問して池田さんのほうからは厳しい回答を得たんですけど、それは何かといたら、やはり今直面している新幹線の問題ですね。今、全然前に進んでいないようなんですけど、業者と申しますか、ここに進出をしたいっていう気持ちを持っている企業がたくさんいらっしゃる中でもコロナなんかの収束だけでなく、その辺はやっぱり見ておられるわけですね。佐賀駅をフル規格新幹線が通るかどうかによって佐賀駅周辺の整備、まちづくり、ものすごく変わってくるというふうに見ておられるわけですよ。その辺をどう捉えられているのか。今の段階ではもうフル規格新幹線は通らない、県がああいうスタンスだから、これ、来ないというふうな見方をされているとは思いますが、来るとしても数十年先とおっしゃいましたもんね。そういう認識だからですよ。

僕もここでもう質問したり指摘はしたくないんですけど、要はその辺もやっぱり視点に入れとかないといけない部分もやっぱりあると思うんですよ。だから、その辺はどうかということ、ただ単にその駅前周辺を整備するだけで活性化になるのか、例えば、アリーナのほうに歩いて行かせるっていうような方法をとられていますけれども、それはもう路線に乗っているからですね。だけど、先日、国交省のかなり上の方と意見交換をさせていただいたときに、やはりアリーナをつくることによって、それに人を運ぶのは在来線では無理ですよ。新幹線がないとだめですよというような話までちょっと聞いたわけですけど、そういった中で、まちづくりを行っていく中で、新幹線については、まちづくりに拍車をかけるという非常に大きな部分でもあるわけですね。

なので、今のスケジュールだと、市が買い取って、そこに、駅ビルなのかどうなのかわからんけど、そういう構想があるけれど、睨む視点はですね、今からの、この新幹線の議論によってこの周辺も変わるという認識だけは持ってもらいたいと思います。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

数十年と言ってしまったので、それでちょっと反応されたのは、平原議員が反応されたのをよく覚えているんですけど、あの時にお答えしたのは、数十年先しか来ないとか数十年先には来るとかってそういうことを答えたつもりはなくて、新幹線が来るとしても、実際今から、今決定されたとしても、10数年から20年ぐらいかかるんじゃないですかというようなつもりで言ったんですけど、そういうことです。数十年もずっと先しか来ないとか、この先来ないとかっていうことを答えたつもりはなかったものでちょっと、御理解を変えておいていただきたいんですけど。

あと、新幹線について直接的に私のほうからコメントすることはできませんので、ただ駅の前、前回、今の駅が高架になって、開発が進んで40数年今のままでした。もうあそこが大きく変わることはあっておりません。次に、やっぱり何十年か後にまた大きなことが起こる可能性があります。もちろんその途中で起きることもあると思います。そういうことは、やっぱりどこでどういうことが起こるかっていうことは、きれいに線が引いていなくても、やっぱりいろんなことが起こることはある程度想定しながら、開発事業っていうのは進めていかないといけないっていうふうには思っていますので、やっぱりこれから、要は、駅の南側の開発事業を進めていくに当たって、もう、この先何も周りができなくなってしまうような開発のやり方ではなくて、いろんなことがある駅の周辺であることを前提に、開発というのをやっていかないといけないというふうに思っています。

全く何もこの先、今の状態がフィックスで変わらないですよっていう、そういうつもりで開発をするつもりはないです。

○山下伸二委員長

先ほど重田委員の質問に対して、令和4年5月以降、延びた場合には駐車場運営を延長することになるだろうという話だったんですけども、やはりあの北口、それから三溝線、さらに今から南口と進んでいきますけれども、あそこが、とぎれがないようにということが一番最初からの佐賀市としての考えだったわけですね。だから、今回コロナの影響で、こういうふうな進め方について変更したいということで、恐らくこれ補正予算等も今後上がってくると思うんですけども、やっぱりそこら辺のところはきちっと所管の委員会はもちろんそうですけども、こちらの特別委員会のほうに、逐次、情報提供していただきながら、切れ目のないような開発をやっぱりしていくということは大事だというふうに思っています。ぜひよろしくお願いをしていきたいと思います。

それでは次に、佐賀駅前広場北口の整備について皆様からの御質疑をお受けいたします。

○御厨委員

北口広場整備の1なんですけども、徐々にやるのではなくて、一気に封鎖してやりたいというふうに今お示いただきました。その間のタクシー乗降の客とか、あと駅への送迎の車、このあたりの対応として臨時の乗降用の駐車スペース等は設ける予定でしょうか、いかがでしょうか。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

基本的には、南口はもう今までのとおりになりますので、できる限り安全性の面からも南口のほうを御利用いただきたいなというふうに思っておりますが、この周辺で、例えば東—この区域でいくと右のほうですね—のところの出入り口をちょっと確保するとかいうことで、どうしても北口のほうから来て降りないといけない方のために、場所はこのエリアの中ではなくて、東のほうにでも確保したいなというふうには思っています。

まだ、今からここの工事の工程とか何とかを決めていきますので、ちょっとその詳細については今ここでお答えはできないんですけども、どうしても北口を利用しないといけない方のために、ここで降りることができますよという場所は確保したいというふうに思っております。

○御厨委員

今言われたのでぱっとイメージしたのは、もう一つ東側の、要は、ちょっと固有名詞出しますと、ビッグワンラーメンがあるところに入って出ていくようなイメージで考えているのかなというところでしょうか、いかがでしょうか。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

そこもありますし、もう一つ東側のほうにもありますので、場所はどこでいきたいと思いますのは、ちょっと今から工事業者と詰めていきますので、そこも含めて、利用者の方にこちらを御利用くださいという御説明はしていきたいというふうに思っています。

○御厨委員

そのようにされるのであれば、誘導看板等の設置とかしっかりしていただいて、恐らく取りつけ交差点工事—要は道路の前で降りたり乗ったりする方がいらっしゃると思いますので、ここも、交差点工事のほうの方が後になりますので、変形交差点が残ったままだと思いますので……どうされるんですかね。この工事が始まったときには、この交差点、2つあるほうの西側の交差点は1回もう、黄色点滅か何かに変えてしまうんですよね。何かそこら辺はわかっていますか、決まっていますか、工事スケジュール。

お願いします。

○佐賀駅周辺整備構想推進室事業係長

警察との協議で、完成するまでは今の信号のままで工事を進めます。信号はそのままで、駅から出る車はないけれども、信号の現状は今のままで工事のほうを進めます。それで、新しい交差点になったときに切り替えを行う予定です。

○御厨委員

となりますと、やはりなおさら東側の信号、西から東に向かって行ったときには、信号はないからですね、ここの。わかりますかね。西から東に向かって走っているときには、北島の前にはもう東向きには信号はないじゃないですか、分からない方はたまに止まりますけど。あそこで、多分乗ったり降りたりする方も出てきたりして、車が渋滞したり、クラクションを鳴らしたりとかいろいろ問題も出るというのがちょっと懸念されますので、しっかり事前の告知と誘導看板等を出していただいて、対策を練っていただきたいというので、回答があればお願いします。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

安全性確保というのは、もう非常に重要なことですので、そこはもう万全を尽くしたいというふうに思っています。

○山下伸二委員長

この取り付け交差点の工事の②のところと、ちょっと後ほどの4番目のほうになるんですけども、市道三溝線の1期工事、これは重なるんですかね、工事的には。

○佐賀駅周辺整備構想推進室事業係長

そこは業者間で、交通は通行止めをしないで行うように、ちょっと調整をしながら工事をしたいと思っております。

○白倉委員

今お示しいただいているように、ちょっとスケジュールが1カ月ほど伸びるっていうことで計画されておられますが、JRとの関係ですね、JRとの関係っていうのも、せんだってJRの出入口に自動開閉の扉を設置してほしいとかいう要望書がちょっと出されたりとかですね。それと、JRの中を通過して、南北を移動される方っていうのは当然たくさんおられる中で、段差がJRのほうはあって、例えば障がいを持っている車いすの方とかお年寄りの手押し車の方とか、車輪のついた荷物でもそうですけれども、割とJRの入口は段差があったりするんですね。そういったところでJRも恐らく認識されている部分かとは思いますが、この佐賀市の工事の部分と、何かこう連携をとってというふうなことができないんですか。例えばこの入り口がすぐJRの入り口になるわけでしょ。佐賀市の暫定駐車場の出口っていいですかね。そこがJRの入り口になったりするときに、連携をとってというふうな、何か効果的なやり方っていうのは検討されているんでしょうか。

○佐賀駅周辺整備構想推進室事業係長

段差っていうのはどこのこと……この北口のこの図面でいうとどこのことが……歩行者動線は、今のところそのまま工事を進めたいというふうに思っているんですけど。

○白倉委員

JRに入るときに、1つは、自動開閉の扉をつくってほしいなんていう要望書が先日、佐賀県の障害福祉を考える会ですかね。そこから出されて新聞紙上にもあったことですし、佐賀市のほうからもJRに対していろんな要望を出すときに、そういったことの考えもある

かと思うんですよ。それも一つの工事のやり方ですし、ほかにJRに入っていく入口っていうのはもう、現実あちこち段差がありますよ。入り口にはありますよ。だからそういうところに、関連しての何かって言う考えはあるんですかっていう意味です。せっかく、北の工事を市がするわけですから、その辺のJRとの連携って言うのは考えられていますかっていうことを、意見交換も含めてですね。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

とにかく、今回のお示ししている工事は、駅舎には掛からないところでの工事ですので、そういう、今おっしゃったような、障がい者の方たちからの御要望が出ているとかっていうことは、別のところでの扱いになるかなというふうに思っています。

今、駅舎との間の段差がどこかにあるということであれば、歩行者動線をきちっと確保するために、段差をとにかく無くしていきたいというふうな、そういう工事のやり方にはなるというふうに思いますが、その駅舎の中に入るところの問題とかになりますと、今私どもが行いますこの工事の中でお話をするという事はないと思いますので、別の扱いで、それは、JRと協議していく話だというふうに思います。

○白倉委員

それはもちろん予算の確保とか、予算の流れの中で当然私たちも理解しているんですが、せっかくここの北口のところを整備するわけですから、そこのところは、段差の問題とかいろんな問題がJRとの続きである中で、ぜひ、別の場所って言われるなら、もちろん別の場所——ここの私たちが今、より市民にとって、利用者にとってよきものにするために、JRとも協議しながら、同時期にやれば一番いいんですけども、そうはいかないでしょうけれども、もう全くJRはJRだから、佐賀市は佐賀市だからって言うんじゃないで、ぜひ協議を進めていただきたいということは要望したいんですが。

○山下伸二委員長

今、白倉委員が言われているのは、この図示されているところの赤の点線の工事をするならばということ言われていると思うんですよ。その中に、オレンジで薄く示してありますよね。要は、工事をする部分はオレンジで、通行止め、要は出入りを制限する区間が赤の点線なのか、そこら辺のところ、赤まで全部工事をする、歩行者道までするのであれば、先ほど白倉委員が言われたように、JR九州との連携とかはあるでしょうけれども、今回は北口広場のオレンジところの整備工事ということであれば、もう少しその辺を説明していただいたほうがいいかというふうに思うんですけど、その辺どうなんですか。

○佐賀駅周辺整備構想推進室事業係長

今回工事する範囲は、赤の点線ところ全部を工事します。先ほど池田のほうから言ったように、駅舎——赤の点線の南側が駅舎になります。その入り口については、当然その付近を工事しますので、可能な範囲で駅舎と広場の出入り口の段差をなくすとか、そういった協議はJRのほうと可能な限りしていきたいと思っておりますけれども、駅舎の中の段差に関

しては、ちょっと今回工事をする範囲ではないので、佐賀市からはちょっと今お答えができないというか、JRに働きかけをするぐらいしかちょっとできないのかなということで考えております。

○山下伸二委員長

だから、駅舎の中とはおっしゃってないですね。

その連携のところ、JR九州とできることがあるのであれば、それはお願いしたいという要望だと思うんですけども、ちょっとその辺、先ほどの池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長から答弁があったのと、ちょっと今若干答弁が違ったような感じがするんですけども。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

先ほどおっしゃったのが、自動ドアにするとかっていうお話であったと思ったのでですね。そこにつきましてはJRさん、私どもが今回こういう工事するからそこは自動ドアにしてくださいっていう、そういう協議というのは少なくとも今回の工事の中でお話をするものではないと思いますが、そういった御要望があっているということにつきましては、JRと話をする中でお伝えはしていきたいというふうに思います。

○白倉委員

ぜひお願いします。そのJR自動ドアにするとかせんとか、それはJR側の問題ですから。ただ、されるっていう方向性がもし見えるなら、ぜひこの佐賀市の工事の範囲のところからの連携口とのやり方と言いますかね、そういうのを含めて、JRと十分、先ほど答弁いただきましたように情報交換しながら進めていただきたいと思います。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

ちょっと、具体的にどこという話ではないと思いますので、今回工事を行うことによって、歩行者の方たちがスムーズに移動できるようにというのは、もちろん十分に考えて工事をやっていきたいと思っていますし、JRとも必要な部分につきましては、御相談をさせていただきたいというふうに思っております。

○山下伸二委員長

白倉委員、先日出されたじゃないですか、障がい者の団体から、佐賀駅の改修についてですね。あれはJR九州に対して出されているんですか、それとも佐賀市にも併せて出されているか御存じですか。JRだけですよね。佐賀市にはどういうのが出ているとかっていうのは、JR九州から情報を聞かなければ、具体的にどういうふうな要望が出ているかっていうのは今御承知されていないことですよ。だから、今の段階では要望が何かわからないので、答えようがないけれども、そういったことでできるのであれば、JR九州と連携をとっていくっていうことでいいんですか。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

そうです。

○平原委員

ちょっとさっきの件で補足して説明をします。以前、佐賀市内の障がいを持っておられる方と、もうそれと議員有志と、それと執行部のほうから来ていただいて、意見交換会をやったんですね。その中で、障がい者のある方が、佐賀駅の北口、南口に自動ドアがないので、つけてほしいというようなことに端を発したわけですよ。

そのあと、障がい者の各団体の方の、団体の集まりが佐賀の障がい福祉を考える会という会を立ち上げられて、内田さんという車いすの方が会長になりました。そのときに、執行部のほうも同席されていまして、会議のときですね、されていまして、J R九州側のほうに、こういうことが起こっているので自動ドアを設置してほしいという要望書を提出したいというような申し出をしましたところ、向こうのほうは、もうそうしたら出してくださいということで、J R九州側は、その会と、それと我々、支援議員といいますか、その議員とそれと執行部と、連名でいいですよというようなことでしたけれども、執行部のほうにそれを説明しところ、執行部のほうは、執行部は執行部でJ R九州に上げますというようなことでしたので、執行部は恐らく、J R九州のほうに、もうつながっているものだというふうに思います。そういう話でしたので、市がどうのこうのとかっていう話じゃなくて、今の流れはそういうふうになっていると思います。

それで、J R九州のほうは、これをやるかやらないかについては、内部で協議をされているというふうに思っています。

○山下伸二委員長

ということは、もう、市としてはそういう要望が出ているということを確認をされているってことでよろしいですか。ちょっとこれ確認しとかないと。よろしいですか。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

確認します。

○山下伸二委員長

それ確認しといてください。今回のその佐賀駅周辺整備の北口とか南口の整備と、かなり連携してくるところなんで、これはJ R九州との連携は必要になってくると思いますので、佐賀市として、どういう認識をされているのかちょっとここは確認しといてください。

これ平原委員、白倉委員、そこら辺の認識については次回委員会のときに報告いただくということでもいいですかね。

○白倉委員

ちょっと詳しく平原委員から説明があったけど、福祉のほうにはこの話がつながっているんですね、福祉の窓口担当に。福祉のほうと、ここの駅前のほうとは担当が違いますので、その話がちょっと何て言いますかね、あれでしょうけれども、そこもそういう話がありますので、ぜひ連携しながら進めていただきたいという旨です。

○山下伸二委員長

そこが市全体の認識になっているかどうかということで、確認をしておいていただきたいんですよ。それはただ、担当窓口に要望が上がったという段階で止まっているのかどうか、それをそのあと佐賀市全体として共有して、今後の課題として認識されているのかどうか、その辺で全然変わってきますので、その辺の確認をお願いします。

○永渕副委員長

市民周知、工事内容に関して、各メディア関係も含めてホームページ等でということの記載が今あるわけなんですけれども、先週、周辺の整備の模型を見に行ったら、各マスコミ等から、市民座談会等を開いて市民にもまたそういう広げていきたいというようなお話をされているとお聞きしました。コロナ禍の中で、なかなかそういうこともできないのかなと思うんですけど、進捗状況をお示しいただければと思います。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

今年度、2回ぐらいは開きたいなというふうに思っています。そのためには、あそこに模型を置かせていただいて、市民の皆さんに意識を持っていただきたいなというふうに思っていますが、これは主に、今後も北口は工事に入っておりますので、南口をどういうふうにするかっていうふうなことについては、皆さんの御意見を聴取するということが多いと思います。今年度、何とか2回ぐらい開きたいと思っておりますが、何せ今のようなコロナ禍でもありますし、できれば、ちょっと著名な方とかをお呼びして、その人のお話も伺いながら、我々だけで話をするのではなくて、こういう整備のあり方がいいですよみたいなお話も一緒に聞ければいいなというふうに思っています。その方との調整とかも行ってまいりますので、何とか年度内に2回ぐらいはやりたいというふうに思っています。

○永渕副委員長

理解いたしました。

ただ、工事自体がもう既に始まっているという状況の中でやっていくとなったときに、セレモニー的な意味合いにはならないように、やはり、市民、意見交換、著名な方から聞いたのが反映される、やっぱりそういうものを目指していただきたいと思っておりますので、その件に関して答弁を求めます。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

もう線形のきちっとしたものを、これを20センチ、30センチずらしてくれというような話は難しいかと思いますが、小さな変更とか、そういうものについては、もちろん皆さんからいただいた意見を、工事をしながらでも変えていくってことをやっていきたいというふうに思っています。そこは、南口のほうも含めてですが、最後まで皆さん方からぎりぎりまで御意見をいただきながら、調整をやっていくということは進めていきたいというふうに思っていますので、ここに道路をつくる部分をちょっとずらしてくれと言われたら、ちょっとそれは難しいかと思いますが、皆さんにとって使いやすく、使っていただけるような広場にしたいというふうに思っておりますので、そこは反映させていただきたいというふ

うに思っています。

○山下伸二委員長

ほかに、3番目よろしいですか。

それでは最後4番目、市道三溝線の整備について。

○宮崎委員

電線の共同溝ですけれども、詳細設計は今からということですが、大体、工事が東側に入った場合、東の歩道はもう全く通れない状況なのか、そこら辺をちょっと教えていただければと思いますが。

○江口道路整備課長

東側の工事には来年度から入っていきたいと考えておりますが、歩行者が通れる空間とか、そういうのは確保しながら工事をやっていきたいとは考えております。

○宮崎委員

例えば、やっぱり国スポに合わせてきれいに整備をしようっていうところで、技術的にどうなるかちょっとわからないんですけども、東側を先にして西側を後からとか、例えば両方一緒にとすることはちょっと不可能ですか。

○江口道路整備課長

両側を一緒にした場合が、工事したときにほかの車両とか、歩行者の通行空間を確保するのが難しいために、片側ずつということで考えてやっております。

○宮崎委員

当然、ここは商業高校生たちの通学路になるわけですので、大体東側を通っていらっしゃるような感じで、先に東側ということで当然西側になるわけですね、それ、いつとき、2年間ですね。ですので、そこをきちんと先ほど誘導の看板とかの話がありましたけど、当然だと思いますけど、安全対策のほうをしっかりとお願いしたいと思います。以上です。

○中村委員

先ほどの宮崎委員の関連といたしますか、ちょうど道路改良工事するときに、機動隊のあたりのY字の、ちょうど交差点といたしますか、あそこもちょっと結構通勤・通学、また、交通量があると思うんですが、私がちょっと見ている限り、結構歩いて横断したりとか、高齢者の方とか、あと反対側のバス停もありますけれども、そこら辺のもうちょっとこう、確認の意味で、安全性といたしますか、横断歩道も今のままになるんですかね。ちょっとそこなんか工事に伴って何か変わるところでありますでしょうか。

○江口道路整備課長

北側の機動隊前の交差点については、基本的には今のままの形状と考えております。

○山下伸二委員長

今の予定では、令和5年に国スポ、全障スポなんですけれども、間違いなく、ここには、具体的にどうなるかわからないんですけども、そういったことを、当然想定しながら、工事

の再配備というかですね、そういったことも行わなければならないというふうに思いますけれども、その辺、現段階において何か考えとかそういうのがありますか。

○江口道路整備課長

国スポがちょっと延期された場合なんですけども、電線共同溝を設置するときに、市が電線共同溝の本体を設置して、その後に電線管理者が、ケーブルを入線したり、地上機器を設置したりするようになりますので、できるだけ、うちも早目に電線共同溝を入れていくんですけども、電線管理者にも働きかけをしていきたいとは考えております。

○山下伸二委員長

ですよね。仮に、国スポとか全障スポとかが後ろになったときに、1年とか2年延びたときに、先に西側も含めて、共同溝をやってしましましょうっていうふうなことになるかもしれないですからね。

ただ、そうした場合に、それぞれの電線管理者は、特殊な機器ですから、1年ですぐ機材が調達できるとか、そんなもんでもない、非常に特殊な機械を用いますよね。そういった場合、やはり、しっかりとそういった状況を踏まえながら連携をとって、なるべく国スポが延びたら早目に共同溝等の工事ができるように、ぜひその辺については、電線管理者とかと連携を密にとっていただきたいということを、これを要望しておきます。

○御厨委員

前回我々、委員会で視察をしてきました。そのときに、県の担当の方から264号線の車線を増やす話をお伺いしました。先ほどの中村委員の質問にもちょっと関連するんですけども、その工事とこの市道三溝線の工事、要はこの機動隊前の交差点でつながってくると思うんですけど、何か関連して進めるような取組とありますか、現段階でわかっていることがあればお示しいただきたいと思いますが、例えば、日程の調整だったりとか、どのように関連づけて工事を進めていくとか、何かその辺の一緒に進めている部分とかがあればお示しください。

○江口道路整備課長

今、県のほうで拡幅とかを進められている部分が、国道34号から北の部分について計画されています。うちのほうは、この機動隊から南の部分ですので、直接、工事の調整とかをしていることは、今のところありません。

○山下伸二委員長

この前なされたのが、立体交差点の北側の南進してくるところの左折レーンを延伸するとか、そういった工事の説明だったんですよね。ここの直接、市道三溝線とのところではないということですよ。

(「はい。」と呼ぶ者あり。)

ほかにございませんか。

○永渕副委員長

三溝線はもう既に工事が舗装工も含めて始まるんですけど、これちょっとレクのときにも触れましたが、264号線沿いの歩道、これ県道に当たるんだと思いますが、こちらのほうの劣化がすごくてですね。これはぜひ皆さんにも、執行部も議員の方も見ていただきたいんですけど、カラー舗装していたんですけど、かなり剥げています。

それで、あれを見ていると、今回の三溝線の舗装の仕方がちょっと心配になっている部分があって、まずどういう材料で、何か碁盤目状みたいな図面をもらったりもしていましたけど、再度どういう材料でされるのかまず確認させてください。

○佐賀駅周辺整備構想推進室事業係長

昨年4回検討会を開催して、いろんな舗装の状況を地域住民の方でつくる検討会の中でお示ししてきました。その中で、やはり一番言われたのは、歩きやすさが一番、そういう舗装にしてほしいということで、例えばいろんなカラー舗装がありますが、レンガを敷き詰めたり、平板ブロックを敷き詰めたり、石張りをしたりいろんなことがあります。それも候補に挙がったんですけども、普通のアスファルト舗装を行ってその上にいろんな模様をつけるような工法が最近出てきてますので、今のところそのプリント舗装という工法を念頭に検討を進めております。

○山下伸二委員長

すみません、何舗装ですか。

○佐賀駅周辺整備構想推進室事業係長

プリント舗装です。普通のアスファルト舗装の上に、カラー工材を敷いてそこに模様をつけるようなプリント舗装という舗装がありますので、それを今念頭に検討を進めているところです。

○永渕副委員長

通常の舗装の上に、そういう色のデザイン、先ほど言ったような石目調とかそういうのも演出できるということによろしいですか。

○佐賀駅周辺整備構想推進室事業係長

いろんな形、デザインが可能な舗装材になります。例えば、今佐賀であるのは城内になるんですけど、レトロ館の前とかですね、明治維新の整備にあわせて、くすの栄橋から中央大通りに入るところ、郵便局の前とか、あのあたりがプリント舗装でされています。

○永渕副委員長

プリント舗装のほうですね、施工業者等に、この間のレクでも言った話の繰り返しになりますが、やはりそういう状況が横のほうで起こっていると、そこはしっかり見ていただいた上で、いろいろ僕が調べて、大体8年ぐらいたっているのかな。大体10年はたたないくらいであの状態になっていくと思ったときに、はて、その今おっしゃっているプリント工法的なものがどうなるのか技術的なことはわからないんですけども、やはりちょっと、そういうことにならないように、メインっていうか、シンボリックな道路を目指すというときに、

そのあとのこともしっかり、そういうことも考えなきゃいけないのかなというところで、そのあたりちゃんとお伝えしていただきたいと思います。御答弁を求めます。

○佐賀駅周辺整備構想推進室事業係長

舗装業者、専門の業者がおられますので、ああいう技術も日進月歩で進んでおりますので、経年劣化等も含めて、その材料の選定——ちょっと経済性もあるんですけども、長く劣化をしないような材料を選んでいきたいと考えております。

○白倉委員

ちょっとプリント舗装のことが出ましたので、関連なんですけど、これすみません、ほかの自治体でちらっと見かけたことがあるものですから、例えば、佐賀市はこの三溝線をウォークアブル、歩いてもらおうっていうふうな計画で開発しているんですね。なるべく歩いてもらう、しかも退屈しないで歩いてもらうっていうふうな意味で、県の施設までが一応の目的地、そのためだけの道路ではもちろんないんですけども、例えば、ちょっと中間地点とか、ずっと歩いていて、どこにあるんだろうかって全然わからなく、歩いてもらう人もあったりするわけでしょう。なんかそんなふうな工夫はできませんか。

○佐賀駅周辺整備構想推進室事業係長

昨年の三溝線の検討会の中でも駅からサンライズパークまで歩いていかせるということだけど、目標とか、ルートは一本なのでそう多く案内はいらんと思うんですけど、実距離がなかなか分からないと歩く気にならないという話もありましたので、例えば道路面に駅から言うとサンライズパークまで、約 1.4 キロメートルなんですけど、その 100 メートルおきぐらいに、例えば、サンライズパークまで 1.3 キロ、1.2 キロ、800 メートルとかいう表示をすとかですね。逆にサンライズパークから駅に向かって、駅まで何百メートルというような表示をしたほうが、やはり歩くほうも、後何百メートル頑張れば着くっていうのがいいという、地元の方から御意見をいただきましたので、そういうのは実施をしていきたいと考えております。

○白倉委員

わかりました。その辺のところの意見が出ていて、もうお考えがあるならいいけれども、せめて何ていうかな、中間地点まで来ましたとかですね。なんかそんなふうな、退屈しないようなものがあればと、ちょっと思いましたもので。わかりました。

○山下伸二委員長

そういった検討会に出ているので、そういったものを取り入れていくという方向なんです。ね。

○重田委員

プリント舗装をされるということなんですけど、古湯温泉、あのがたがた道、不評なんです。ね。何回も検討されて、そしてモデルで少しやられて、これならいいねって言って入れてしまってから、もうとにかくいまだに要望があるんですよ。

とにかくその辺は慎重にというか、そして、結構やっぱり老人の方が非常に転んで、骨折の方が何人もいらっしゃるって、そういう部分があるんで、できたときはまあまあよくても、例えば、雨の日は滑りやすいとかいろんな部分があると思うんですよね。そういうことがないように、とにかく……そして、もう基本的に、やっぱりその辺に、地域に住む人たちの意見を十分に聞いて取り組んでもらいたいと思いますけど。

○佐賀駅周辺整備構想推進室事業係長

昨年からずっと検討会をやっています、今年も引き続き、ちょっとやっていきたいと思っていますので、そこはちょっと最後まで住民の方の意見を聞きながら、実物なんかもお見せしながら、施工を最後までやっていきたいなど。

あと、さっきも言いましたけど、今技術が発達していますので、なるべくそういう劣化をしない、滑りにくく歩きやすいっていうのを選んでいきたいと思っています。

○山下伸二委員長

十分聞いて説明をされても、やっぱり実際に施工してみなければわからないところってあると思うんですよね。だから、そこら辺のところは丁寧に、舗装材がまぶし過ぎて、反射がまぶし過ぎてとか、以前もいろんなことがありましたし、そういう説明をしていますが、実際に施工してみたらいろいろあると。

だから、例えば先ほどのカラー舗装、プリント舗装にしても、レトロ館前にありますよとかですね、そういった情報を、こういったところで採用しているようなものを作りたいですよとか、そういったものを具体的に話していただくと、住民の方と私ども、どういうものなのかということが具体的にわかると思いますので、そういった説明を今後もお願いしたいというふうに思います。

○白倉委員

せっかくの機会ですので、私たちもよく市民から聞かれることなので、御存じの範囲でお尋ねいたします。最初に暫定駐車場のお話がありまして、8月に大きく伸びているのはコムボックスの駐車券の購入ということがありましたが、今、この駐車券の利用者の人によく聞かれるんですね。30分無料ですよ。それで、農協関係、JAでは1品でも買ったら、例えば2,000円以上とかそんなじゃなくて、1品でも買ったら、あれは1時間ですかね、駐車券をくれる。2階にいくつかテナントが入っているんですが、そこは出すところと出さないところがあるんですか。その辺はなんか聞かれていますか。というのが、何でこんなことを聞くかって言ったら、30分じゃとても、ちょっと買い物する、1階のところをずっと回って買い物する、私も主婦ですので買い物して帰ることがあるんですが、買い物をすれば延長が出るからいいんです。ちょっとその辺、せっかくあるから、こっちに行って県の施設の県産品のところを回ったりしていたら、もうちょっととてもじゃないけど、ちょっと足りなかったりするんですね。2階でも買い物したりするんですが、何かそんなふうなことで聞かれていることがありましたら教えてほしいんですが。今の駐車券を、ここにとめて無料

になる範囲ですね。何か聞かれていますか。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

先ほどありましたが、そもそもあそこにとめられた方は、最初の30分間は無料になっています。それで、この方たちが全体の半分より少ないぐらい、ここに上がっております台数の半分弱ぐらいの方が、30分以内に出られているっていう情報はございます。

その後、JAで買い物をされた方は、もう買い物されたということで、プラス30分、要は1時間までの無料処理ができるように、駐車券をお渡ししているわけではなくて、無料処理ができるようにということでJAと話しています。これJAからもお金もいただいています。

そういうところでJAと今まで話をできてきておりますが、あと、2階のテナントとかについてはまだ、それぞれお話をしているわけではありませんで、大和ロイヤルが買われているのは多分、2階のテナントとかとの話の中で買われているのかなというふうには思っていますが、周辺の、例えばコイケスポーツが、我々のところに駐車券を売ってくれていうふう買いに来たりもしていますので、そういったところと、今のところ同様の扱いをさせていただきます。

これからテナント全体が埋まったら、テナント会みたいのができて、こちらと交渉してくるといふこともあるかなというふうには思っていますし、それは駅前にできた建物でございますので、そこは交渉に応じたいというふうには思っていますが、今のところはそういうお話をいただいているわけではないので、個別に大和ロイヤルとテナントが対応されているというふうには考えております。

○白倉委員

わかりました。ありがとうございます。

正直、30分の無料駐車場で、それとあそこでちょっと買い物して、こうこうして、プラス30分。ちょっと県産品のところを回ったり、こうこうしていたら、やっぱり1時間では正直足りないんですね。利用者としては、あそこは、にぎわいをつくりたい場所であるので、用事がなくても、買い物がなくても行ってほしい、それで、目についたら買い物してほしいなっていう気持ちもあって御案内するんですけども、今後テナント会とかができたら、その辺のところの、何か2階では駐車場が出ないとかというふうなことも、今のところちょっと聞いたりもしていますので、またいろいろと、利用者が多くなるように、情報とかのやりとりをしていただければと思います。

○山下伸二委員長

何かコメントありますか。

○池田佐賀駅周辺整備構想推進室副室長

やっぱり駐車場の運営をやっておりますので、確かににぎわっていただくのは私たちもうれしいことではあるんですが、無尽蔵にチケットをお出しするというわけにはいきませ

るので、そこはやっぱりきちっとしたルールを決めて、その範囲内でもちろんお売りするという形でチケットを出していきたいというふうに思っておりますし、そういうルールづくりというのは今後やっていきたいというふうに思っております。

○山下伸二委員長

駐車場運用の条例を審議するときも、その辺はかなり、いろんな議論があったというふうに思っています、そういった議論も含めて現在の駐車場の料金の設定になっていると。そのあとは、テナントなり大和ロイヤルがどのようなお客様サービスをしていくかということ、その辺について、利用者の方からいろんな違いがあるので混乱をされているんじゃないかという、多分そういった御指摘だと思いますので、そこについては情報収集をしっかりとお願いしたいというふうに思います。

ほかにございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

それでは、なければ佐賀駅周辺整備事業について質疑を終了させていただきます。

執行部の皆さんは退室していただいて結構です。

ありがとうございました。

◎執行部退室

○山下伸二委員長

お客様でした。

それでは、今後の特別委員会の開催等についてなんですが、9月ぐらいから具体的な工事が始まるということで、今日、かなり詳細な説明をいただきましたけれども、今後も執行部と調整した上で、改めて、皆様に委員会の開催についてはお知らせをさせていただきたいと思っておりますけど、よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

それでは執行部と調整の上、また皆様のほうに、次回開催については連絡をさせていただきますのでよろしく申し上げます。

それでは、これをもちまして、第6回の佐賀駅周辺整備調査特別委員会を終了いたします。